

○ サイン・看板

<ポイントと方針>

三国湊の町並みの雰囲気や踏襲し、建物の雰囲気を引き立たせるようなサインや看板を設置します。

看板だけが目立つような町並みの作り方ではなく、サインや看板と建物が一体となって雰囲気のある町並みを形成していくことが大切です。そのためには、建物の外装で用いられているような自然素材を使用したり、色彩を調和させたりすることが必要です。

<分類>

分類	基準
三国湊の伝統的町家	木などの自然素材を用いて、町家の雰囲気に調和したものとする。
三国湊の町家	木などの自然素材を用いて、町家の雰囲気に調和したものとする。
その他の建築物	自然素材を基本とし、派手な色の使用は避ける。

<事例>

		
平置きの木看板。 三国湊の伝統的町家相当	のれんを用いた看板。 三国湊の伝統的町家相当	木ルーバーの上に文字が浮かび上がっている。 その他の建築物相当

3) 建築物の内部

○ 表と奥のある構成

<ポイントと方針>

三国湊の敷地形状の特性を活かした内部空間構成を継承していきます。

道路側から敷地の奥へ連担していく、表と奥のある構成は、細長い敷地形状の中で使いやすい形の居室を確保していくための基本的な構成原理です。座敷が連担した町家の構成は、個々に仕切られつつ、必要な時には大空間にすることができる日本的空間の良さの一つです。簡単に使用方法を変更できる内部空間を残しておくことで、将来的な使用方法の変更にも柔軟に対応することができます。

<分類>

分類	基準
三国湊の伝統的町家	町家特有の内部構成を積極的に保存する。
三国湊の町家	町家特有の内部構成をなるべく保存する。
その他の建築物	-

<事例>

		
既存の間取りを踏襲している。 三国湊の伝統的町家相当	中庭に隣接した土間によって、構成は維持しつつ空間を高質化している。 三国湊の町家相当	表を一般開放、裏を出入り口として機能を分担させている。 三国湊の町家相当

○ トウリ

<ポイントと方針>

三国湊の敷地形状の特性を活かした内部空間構成を継承していきます。

道路側から敷地の奥へ通路を通していく構成は、細長い敷地形状の中で使いやすい形の居室を確保していくための基本的な構成原理です。この空間を用意しておくことで、部屋を介さずとも各部屋へのアクセスを確保することができます。

トウリには笏谷石が敷かれている場合が多いため、笏谷石を保存しておくことも大切です。

<分類>

分類	基準
三国湊の伝統的町家	町家特有の内部構成を積極的に保存する。
三国湊の町家	町家特有の内部構成をなるべく保存する。
その他の建築物	-

<事例>

	
トウリにそって座敷などが配置されている。 三国湊の伝統的町家相当	ガラスの床板にすることでフラットな空間として現代の生活に合わせつつ、トウリを見せるような構成になっている。 三国湊の伝統的町家相当

○ ミセと街路の関係

<ポイントと方針>

道路と建物の間のミセを干渉空間として整備することによって、賑わいとプライバシー確保を両立する町並みを作ります。

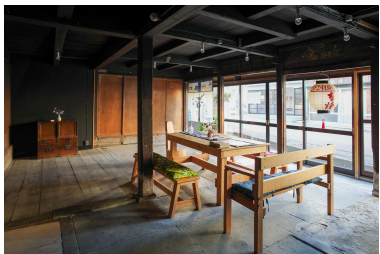
店舗の場合は、街路から店の部分が見えるようにし、ミセの部分が交流や賑わいのある空間になるように努めます。

住宅の場合は、街路空間とほど良い距離感を保つことでプライバシーの確保やより良い住環境を創出することができます。

<分類>

分類	基準
三国湊の伝統的町家	町家特有の内部構成を積極的に保存する。
三国湊の町家	セミパブリック空間を積極的に設ける。
その他の建築物	商店などの場合は、道路に対して開口部を積極的に開き、内部の設えが見えるようにします。

<事例>

		
ミセ部分をガラス戸にし、地域の方々へ一般開放している。 三国湊の伝統的町家相当	ミセ部分を事務所とすることで来訪者との接点となっている。 三国湊の伝統的町家相当	物販として活用している。 三国湊の町家相当